

# 静岡県議会レポート

県庁内 控室 静岡市葵区追手町9-6 TEL054-221-3510

浜松市西区入野町9860-1 TEL053-440-7100

浜松市西区 田口 章



## コロナを超えて 創ろう！元気な静岡県

昨年は世界史に残る年になりました。1年前、現在の状況を予想できた人はいなかったのではないのでしょうか。今後、社会・経済がどのように進んでいくかはワクチンや治療薬の開発をはじめデジタル化等これからのイノベーションにかかっています。私はウィズ・コロナ、アフター・コロナを見据え、今年も元気いっぱい取り組んでいきます。

### 令和2年を振り返って



#### ○コロナ禍

昨年の漢字は「密」。「三密」の回避など新しい日常、イベントの中止、活動自粛など社会生活においてさまざまな面で試練の年になりました。静岡県は感染拡大防止対策や医療提供体制整備、企業支援、経済対策、学校支援、デジタル化推進など矢継ぎ早に対応しました。コロナ対策の事業規模は年間当初予算 1兆2792億円の約1割、1250億円に上りました。

#### ○リニア問題

昨年4月、JR東海と静岡県の協議が進まない中、JR東海に対して具体的な指導を行うため国交省有識者会議が設置されました。12月までに7回の会議が行われましたが解決に至っていません。

この間、6月にJR東海社長、7月に国交省事務次官が川勝知事と面談を行いました。協議は平行線に終わり、

JR東海が目標としていた2027年開業は難しくなりました。

#### ○監査委員

昨年5月、静岡県監査委員に選任されました。監査委員の役割は、県の事業や財務事務を「正確性」「適法性」「経済性」「効率性」「有効性」などの観点からチェックすることです。監査委員は慣例により本会議での一般質問は行いません。監査委員の立場から県政改革を進めていきます。

#### ○議会活動

常任委員会は「産業委員会」に所属しています。喫緊の課題はコロナ禍における事業継続支援、中期的にはCO2削減を見据えた環境対応支援、長期的には人口減少社会の中、県の産業基盤であるものづくりをいかに持続させていくか…に取り組んでいます。